

## 4. 地区別支部副校長会報告

### 1. 東部A地区副校長会

#### 1 はじめに

平成22年度東部A地区は、足立区7校・葛飾区5校の14名の副校長で構成され、常任幹事・服部幸一郎（足立工）、常任幹事代理・大塚雅一（足立西）、研究幹事・樋口博文（葛飾野）を中心に運営した。

今年度は、TAIMS 端末を活用した成績管理サーバー・自己申告システム・旅費システム・健康管理システムの導入・運用が開始された。

さらに、校内でのICT研修、情報セキュリティ・個人情報事故再発防止対策に伴うTAIMS 校内ネットワークの構築、校務用パーソナル・コンピュータの転用・廃棄など、管理職として情報関係の対応に追われた1年であった。

東部A地区副校長会でも毎回話題になり、各システムの利便性の向上・共通化などの要望が出ている。

#### 2 活動報告

##### (1) 副校長連絡会 意見交換・協議

○4月20日(火) 多摩社会教育会館（全体）

- ・基調報告「学校経営計画の具現化に向けて」を受け、各校の取組について情報交換
- ・成績管理サーバーの運用について情報交換

○5月13日(木) 都立小石川高校（東部所）

- ・基調報告「主幹・主任教諭を活用した校内体制の構築」昼間一雄副校長（葛飾商）を受け、各校の活用状況について情報交換
- ・成績管理サーバーの運用について情報交換

○6月15日(火) 都立白鷗高校（東部所）

- ・基調報告「高等学校における発達障害支援」林真司副校長（足立東）を受け、各校の状況について情報交換
- ・情報セキュリティ対策について情報交換

○7月13日(火) 都立工芸高校（東部所）

- ・基調報告「組織運営の工夫と学校の活性化」を受け、各校の状況について情報交換

○9月14日(火) 多摩社会教育会館（全体）

- ・校種を越え、相互理解・連携を深め、両者の改革を進めるため、都立高等学校と都立特別支援学校との合同協議会（東部所A）で

情報交換・意見交換

- ・TAIMS 端末、成績管理サーバー、旅費システムについて情報交換

○10月12日(火) 都立上野高校（東部所）

- ・新学習指導要領に基づく教育課程の編成、学校説明会の状況、来年度年間行事計画、旅費システムについて情報交換

○11月16日(火) 都立新宿山吹高校（東部所）

- ・基調報告「情報セキュリティの構築に向けた取組」宮下義弘副校長（足立）を受け、各校の取組状況について情報交換
- ・TAIMS 端末に接続可能な周辺機器、インストール可能なソフトウェア、成績管理サーバーについて情報交換

○12月10日(金) 都立上野高校（東部所）

- ・基調報告「OJTを活用した人材育成の実践」を受け、各校の実践について情報交換
- ・生徒募集対策について、情報交換・意見交換

○1月18日(火) 多摩社会教育会館（全体）

- ・意見交換「校長代理について」を受け、校長代理経験者から情報提供
- ・3学期の学校説明会・個別相談会の状況、卒業式の準備状況について情報交換

○2月17日(木) 都立工芸高校（東部所）

○3月17日(木) 教職員研修センター(東部所)

#### 3 おわりに

現在、高等学校における特別支援教育の充実が求められており、6月の基調報告、9月の都立特別支援学校との合同協議会は、特別支援教育の充実を図るための、絶好の機会であった。

特に都立特別支援学校との情報交換・意見交換は新たな試みであり、特別支援学校の副校長先生から直接お話をうかがったり、質問に答えていただいたりして、とても貴重な情報を得ることができた。普段の副校長連絡会では同じチームでありながら、ほとんど交流は無いが、このような場を設定していただいたことに感謝する。

東部A地区は人数が少ないため、密に情報交換・意見交換ができています。この中で、常任幹事を仰せつかり、とても勉強になった1年であった。 常任幹事 服部幸一郎（足立工）記

## 2. 東部B地区副校長会

普通科 11校  
専門高校 商業 2校 工業 3校  
定時制課程単位制 3校 総合学科 1校  
附属中学校 1校 中等教育学校 2校  
計 23校 36人の副校長で構成される。  
常任幹事 藤田 稔 (竹早)  
常任幹事代理 有馬 利一 (青山)  
常任研究幹事 加藤 秀次 (蔵前工業)  
研究幹事 藪田 憲正 (白鷗附属中)  
の4名で東部B地区副校長会に携わってきた。

副校長数の多い地区でもあり、特色のある学校も多く集まっている。各学校の共通課題であっても取り組み方は一様とはいえない。

今年度提示された新たな共通課題、各学校の課題や疑問、そして思い、今すぐまたは中期的に解決しなければならない事項が積み重なってきている。

地区副校長会の基調報告、情報交換、意見交換等によって、何らかの解決の手立て(気持ちが少しでもスーと軽く)になればと思う1年間であった。

### (活動報告)

- ・第1回 4月20日(火) 多摩社会教育会館  
基調報告「学校経営計画の具現化に向けて」  
校種別連絡会:総務部会報告、情報交換等
- ・第2回 5月13日(木) 小石川高校  
基調報告「主幹・主任教諭を活用した校内体制の構築」  
校種別連絡会:幹事会報告、情報交換等
- ・第3回 6月15日(火) 白鷗高校  
基調報告「高等学校における発達障害支援」  
校種別連絡会:情報交換等
- ・第4回 7月13日(火) 工芸高校  
基調報告「組織運営の工夫と学校の活性化」  
校種別連絡会:総務部会報告、情報交換等
- ・第5回 9月14日(火) 多摩社会教育会館  
校種別連絡会:幹事会報告、情報交換等
- ・第6回 10月12日(火) 上野高校  
校種別連絡会:総務部会報告、情報交換等
- ・第7回 11月16日(火) 新宿山吹高校  
校種別連絡会:総務部会報告、情報交換等

- ・第8回 12月10日(金) 上野高校  
基調報告「OJTを活用した人材育成の実践」  
校種別連絡会:幹事会報告、情報交換等
- ・第9回 1月18日(火) 多摩社会教育会館  
基調報告「校長代理の経験」  
校種別連絡会:総務部会報告、情報交換等
- ・第10回 2月17日(木) 工芸高校  
校種別連絡会:幹事会報告、情報交換等
- ・第11回 3月17日(木) 教職員研修センター  
校種別連絡会:総務部会報告、情報交換等

### (研究活動)

8月24日(火)に東京都立高等学校副校長研究協議会が開催され、東部B地区は生徒指導研究部第1委員会として、発表の担当であったため今年度早々から準備を始めた。

研究協議会では、平野副校長(大田桜台)、中村副校長(小石川中等教育)による、テーマ「学校における個人情報の扱いについて」と題し、学校としての対応状況を

1. 緊急連絡と個人情報の関わり
2. 生徒の個人情報の取り扱い

の2点について調査・研究をし、発表した。

また、ブログ、プロフやSNS等の個人情報をめぐる諸問題とその対応についても調査し、この問題に対する具体的な対応策を提言した。

### (副校長連絡会)

副校長連絡会では、学校経営支援センターからの連絡、本庁各部・課からの連絡、そして基調報告、意見交換、校種別連絡会等、各回とも日々変化する都立学校の課題とあり方、そして解決への思い・姿勢を目の当たりにしてきた。

このような中で、各学校が課題を整理し、特色を図りながら、改善、解決へと取り組んでいる姿やノウハウを副校長連絡会で知ることが、各学校の取組への基軸にもなっている。

今年度においては、TAIMSにおける自己申告、旅費システム、さらには個人情報の管理等に関わる校務用PCのあり方、またICTの活用・・・と学校におけるPCにまつわる対応に追われてきた。この対応・取り組みについてだけでも、情報交換するたびに苦勞の念が感じ取られた。「感じ、知り、次へ・・・」のできる機会が副校長連絡会であり、今後も大切にしたい。

常任幹事 藤田 稔(竹早) 記

### 3. 東部C地区副校長会

#### 1 はじめに

今年度の東部C地区副校長会の構成は、普通科高校4校、専門学科高校2校（商1、工1）、単位制高校1校、総合学科高校2校の9校11名であった。常任幹事は、佐々木（六郷工科）、研究幹事は前田（つばさ総合）、常任幹事代理は菅井（大森）がそれぞれ勤めた。

#### 2 活動報告

##### (1) 副校長連絡会と意見交換会

東部地区では、今年度も意見交換会をCチーム、Dチーム合同で、教育課題別に分科会を設定して実施した。分科会は、進学校班、中堅校班、専門高校班、生活指導充実班、定時制班の5を置いた。副校長連絡会の意見交換会のテーマについては、協議の結果、校長連絡会の年間計画に連動した形で協議を行った。

4月20日(火) 多摩社会教育会館

「授業力向上プログラムの実施について」

5月13日(木) 東部学校経営支援センター支所

「人事考課制度を活用した学校改革」

6月15日(火) 大江戸高校

「主幹教諭の育成・主任教諭の活用について」

7月13日(火) 東部学校経営支援センター支所

「ICTを活用した授業研究の実際」

9月14日(火) 多摩社会教育会館

「保護者・近隣住民等への対応」

10月12日(火) 科学技術高校

「教育課程改善の取組」

11月16日(火) 東高校

「自律経営予算の編成と執行について」

12月10日(金) 東部学校経営支援センター支所

「生徒の学力向上のための取組」

1月18日(火) 多摩社会教育会館

「授業改善の取り組み一事例」

2月17日(木) 東部学校経営支援センター支所

「学校施設・設備の安全管理について」

3月17日(木) 東部学校経営支援センター支所

「自律的な学校経営の実際」

全ての発表が副校長の経営管理能力を高める上で有益であった。中でも1月18日実施、前田副校長（つばさ総合高校）の発表は多くの副校長に感銘を与えるものであった。

#### (2) 副校長会

##### ① 東京都立高等学校副校長会からの事務連絡

副校長連絡会の教育課題別連絡会の意見交換会後、終了間際に短時間で実施することが多く、副校長会からの事務連絡や打合せ等が中心の会となるが多かった。

##### ② 塾長対象説明会

通学区域にある塾や予備校の代表・責任者と高校が懇談を行い、相互理解を深め、中学生・保護者への情報伝達の内容や質の向上を図ることを目的とした説明会である。

6月12日(土)、三原高校を会場として、午前9時30分から午後12時00分まで、次に示す内容で実施した。

##### 第一部 各校による説明（1校あたり5分）

・学校概要・特色

・学習、部活動等の指導について

・卒業後の進路状況、指定校推薦等について

##### 第二部 各校との個別懇談会（ブース方式）

##### ③ 旧1学区等都立高校合同学校説明会 in 美原

毎年10月にC地区の高校が中心となって美原高校を会場として旧1学区の中学生や保護者を主な対象とした合同説明会を実施した。

今年度は10月3日(日)に実施した。また、来年度は大田桜台高校を会場として実施する予定である。

##### ④ 東部C地区高等学校副校長会研修会

###### 【研修目的】

東部支所管内に聳える東京スカイツリー建設における先端技術への理解を深め、建設に携わる技術者育成に果たす高校教育の役割を考える。

###### 【演題】

「東京スカイツリーの工事概要と進捗状況について」

###### 【講師】高木浩志 氏

（株）大林組本社 建築本部プロポーザル部課長

###### 【実施日時】3月17日(木) 17時～18時

###### 【会場】東部学校経営支援センター支所

【研修成果】企業が求める人材及び人材育成の視点への理解を深めると共に、アイデアを提案できる能力を育む高校教育の必要性を実感した。

常任幹事 佐々木哲（六郷工科デュ）記

## 4. 東部D地区副校長会

## 自律的な学校経営の実際

### 1 はじめに

本副校長会は、東部学校経営支援センター支所（以下、東部支所）所轄の普通科高校13校、専門高校6校（商業2、工業2、科学技術1、産業1）附属中学校1校の20校22名の副校長で構成され、常任幹事は長江（深川）、常任幹事代理は藤田（東）、幹事補佐は吉田（両国付中）、佐藤（三商）、常任研究幹事は鹿目（紅葉川）、研究幹事は福田（日本橋）で地区副校長会を運営した。

### 2 活動報告

#### (1) 副校長連絡会会場と意見交換会内容

東部支所所管のC、D地区副校長会合同で実施される意見交換会では、本年度は、進学校班、中堅校班、生活指導班、専門学校班の4班に分け、東部支所から与えられたテーマに沿って複数の副校長がリポーターとなり、協議が行われた。予め学校経営支援主事よりテーマと発表者が決定され、会の進行について、事前に東部支所から常任幹事に知らされた。以下に、会場と協議テーマを示す。

#### ○ 4月20日 多摩社会教育会館

授業力向上プログラムの実施について

#### ○ 5月13日 東部支所

人事考課制度を活用した学校改革

#### ○ 6月15日 大江戸高校

専門高校における人材育成について

#### ○ 7月13日 東部支所

ICTを活用した授業研究の実際

#### ○ 9月14日 多摩社会教育会館

保護者・近隣住民等への対応

#### ○ 10月12日 科学技術高校

教育課程改善の取組

#### ○ 11月16日 東高校

自律経営推進予算の編成と執行について

#### ○ 12月10日 東部支所

生徒の学力向上のための取組

#### ○ 1月18日 多摩社会教育会館

授業改善の取組み一事例

#### ○ 2月17日 東部支所

学校施設、設備の安全管理について

#### ○ 3月17日 東部支所

#### (2) 副校長研究協議会に向けて

今年度は、8月24日の副校長研究協議会で、東部Dチームが発表することを受けて、チーム内で協議した結果、発表内容は「生徒会会計の現状と課題」と決定した。副題として、生徒会会計における予算編成と執行状況について考察した。

生徒会会計にかかわる基礎情報を収集し、生徒一人当たりの部活動費に係わる分析や在籍数との関連、部活動の重要視と実績の関係や運営上の工夫、予算編成主体や編成時における副校長の関与を調べ、会計指導を通して生徒をどう育成できるかまとめて発表した。

#### (3) 副校長会

##### ① 東京都立高等学校副校長会よりの事務連絡

副校長連絡会の最後に時間を確保するが、副校長会からの事務連絡の他は、各校の特色に応じた4班に別れての協議となった。この協議の中で情報交換する工夫をして有益な情報を得ることができた。

##### ② 所轄校内での研修会

11月16日の副校長連絡会後に、指導部高等学校教育指導課の主任指導主事を講師にお招きし、教育課程についての研修会を行った。新学習指導要領への対応等が迫られていた時期であっただけに、副校長としての資質向上に良い機会となった。

##### ③ 今後の検討課題

平成23年度からは、東部D地区から任せられる役員の数が減少する。選出された役員が自らの責任を果たすとともに、役員以外の副校長が積極的に意見を出し、自立的に会の運営が図られるようにする必要がある。

常任幹事 長江 誠（深川）記

## 5. 中部A地区副校長会

### 1 はじめに

新補でやっと1年が終わり、副校長の年間のサイクルをつかみかけた時期に、地区の幹事になりました。自分自身、務まるかどうか不安を感じていましたが、皆様のおかげで何とか1年間を終えようとしています。

Aチームは、島しょの高等学校、特別支援学校、中等教育学校、附属中学校があります。そのような中、定例会では、各学校の様々な取組み状況等の報告があり、大変参考になりました。副校長会では、できるだけBチームと合同で実施し、連携して運営してきました。

### 2 活動報告

#### (1) 4月20日(火) 多摩社会教育会館

①「適正な個人情報・情報資産管理への本気の取組みについて」

②「自律経営推進予算の執行管理（事業進捗管理）について」

中部学校経営支援センター所長 船橋 淳

#### (2) 5月13日(木) 都立戸山高等学校

「副校長の職務：事故防止」

中部学校経営支援センター

担当課長 牛来 峯聡

#### (3) 6月15日(火) 都立第一商業高校

「授業の質的向上・量的拡大に向けた取組み」

都立豊多摩高校 副校長 渡邊 和己

#### (4) 7月13日(火) 都立世田谷泉高校

「『田高進路プロジェクト』による組織的な進路指導体制について」

都立田園調布高校 副校長 浅見 弘

#### (5) 9月14日(火) 多摩社会教育会館

「個人情報の徹底管理に向けた取組み」

都立しいの木特別支援学校

副校長 柳澤 順子

#### (6) 10月12日(火) 都立芦花高校

「学力向上と授業改善へ向けた取組み

ー都立高等学校学力開拓推進校における実践からー」

都立目黒高等学校 副校長 堀切 哲弥

#### (7) 11月16日(火) 都立杉並高校

「校内情報セキュリティを高める取組」

都立松原高等学校 副校長 大西 修

#### (8) 12月10日(金) 都立国際高校

「学校経営の工夫ある取組と戦略」

都立国際高等学校 副校長 寺島 雅夫

都立大島高等学校 副校長 千葉 勝吾

都立桜町高等学校 副校長 栃倉 和則

都立深沢高等学校 副校長 雨森 義勝

#### (9) 1月18日(火) 多摩社会教育会館

「学校経営における実効的な主幹教諭・主任教諭の活用」

都立田園調布特別支援学校

副校長 大和田 邦彦

#### (10) 2月17日(木) 都立目黒高校

#### (11) 3月17日(木) 都立松原高校

### 3 終わりに

今年度は、成績管理サーバの運用状況やTAIMS以外のPCについて、旅費システムの導入について、新教育課程について各学校で苦勞していることなど、様々な情報交換ができたことは大変参考になりました。

副校長の仕事は、たかだか5年目に比べても相当増えていると感じています。情報交換を通して、副校長間の横の連携により助けられました。拙い幹事ではございましたが、皆様のおかげで運営できました。感謝の気持ちを申し上げて結びといたします。

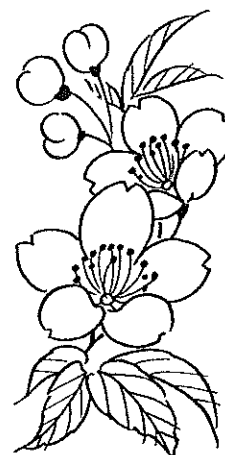
平成22年度役員

常任幹事 小宮 徳健（狛江高校）

常任幹事代理 渡邊 和己（豊多摩高校）

研究幹事 安部 卓郎（三鷹高校）

常任幹事 小宮 徳健（狛江）記



## 6. 中部B地区副校長会

都立国際高校副校長 寺島 雅夫  
都立大島高校副校長 千葉 勝吾  
都立桜町高校副校長 栃倉 和則  
都立深沢高校副校長 雨森 義勝

### 1. はじめに

中部学校経営支援センターBチームが所管する高等学校・中等教育学校のうち、全日制課程または、前期課程を担当する副校長がいるのは、24校で27名である。全国高等学校教頭・副校長会や東京都立高等学校副校長会等の発表を踏まえ、Aチームと同一歩調で進めるように取り組んできた。また、副校長連絡会が全体会・チーム別意見交換・校種別情報交換で構成されていることを受け、所の学校経営支援主事と連絡を取りながら、円滑に進行できるよう心がけた。

### 2. 活動報告

#### 1 校種別情報交換

##### (1) 4月 多摩社会教育会館

「適正な個人情報・情報資産管理への本気の取組みについて」

「自律経営推進予算の執行管理について」

中部学校経営支援センター所長 船橋 淳

##### (2) 5月 戸山高校

「副校長の職務：事故防止」

中部学校経営支援センター

担当課長 牛来峯聡

##### (3) 6月 第一商業高校

「授業の質的向上・量的拡大に向けた取組」

都立豊多摩高校副校長 渡辺 和己

##### (4) 7月 世田谷泉高校

「『田高進路プロジェクト』による組織的な進路指導体制について」

都立田園調布高校副校長 浅見 弘

##### (5) 9月 多摩社会教育会館

「個人情報の徹底管理に向けた取組み」

都立しいの木特別支援学校

副校長 柳澤 順子

##### (6) 10月 芦花高校

「学力向上と授業改善へ向けた取組み—都立高等学校学力開拓推進校における実践から」

都立目黒高校副校長 堀切 哲弥

##### (7) 11月 杉並高校

「校内情報セキュリティを高める取組」

都立松原高校副校長 大西 修

##### (8) 12月 国際高校

「学校経営の工夫ある取組と戦略」

##### (9) 1月 多摩社会教育会館

「学校経営における実効的な主幹教諭・主任教諭の活用」

都立田園調布特別支援学校

副校長 大和田 邦彦

##### (10) 2月 目黒高校 総務部会報告等

##### (11) 3月 松原高校 総務部会報告等

### 2 研究活動

(1) 平成22年8月24日(火) 都立高等学校副校長研究協議会において、第1分科会(管理運営研究部)で「副校長の職務実態と効率化の工夫について」という主題で発表した。

(2) 平成23年2月4日(金) 目黒高校において、多摩大学教授で「知的生産の技術研究会」理事長の久恒啓一氏より「図で考える人は仕事ができる」というテーマのもと、①学校教育と学校運営に図解コミュニケーションを活用する。②ドラッカーのマネジメント理論を副校長が生かすには、を中心とした研修会を実施した。講義後の実習と質疑応答は盛り上がり、副校長の仕事を見直すよい機会となった。



いつの間にか笑顔になっている副校長の面々

### 3. 終わりに

何はともあれ大過なく1年を終えることができたのは、A・B両チームの副校長と中部学校経営支援センターのご協力とご支援、そして、幹事の皆さんの連携によるものである。この場を借りて心よりお礼申し上げたい。

平成22年度役員

常任幹事 計良 智子 (桜町)

常任研究幹事 伊達崎 広 (総合芸術)

研究幹事 堀切 哲弥 (目黒)

常任幹事代理 笹 のぶえ (都立大付属)

幹事補佐 臼田 三知永(桜修館中等)

常任幹事 計良 智子 (桜町) 記

## 7. 中部C地区副校長会

### 1 はじめに

今年度の中部C地区は、9校と1つの開設準備室の副校長10名で始まり、王子総合高校の開校で10校となった。普通科高校5校、単位制普通科高校2校、商業高校1校、工業高校1校、総合学科高校1校となっている。常任幹事は宮本（飛鳥）、常任幹事代理は高橋（板橋有徳）、研究幹事は中神（赤羽商業）、が担当した。

幹事は着任4年目の副校長ではあるが、幹事は初めてなので、連絡、進行がうまく行かずご迷惑をおかけした。年度の途中からは、中部D地区の幹事や幹事代理の方に連絡も助けていただき、合同で地区別連絡会を行うようになってしまった。

楽をしてしまった感は否めないが、中部C地区は10名の小所帯なので、情報量も少なく、個人的には、折角おなじ支所の管轄で同じ部屋で協議しているのにわざわざ別れて連絡会で話し合うのもどうかと考えていたので、われわれ中部C地区にとっては、大変ありがたかった。中部D地区の常任幹事の鶴田先生、常任幹事代理の小塩先生を始め中部D地区の副校長先生方には大変お世話になった。あらためて感謝いたします。

### 2 主な活動内容

- 4月20日 多摩社会教育会館  
副校長会 役員選出等
- 5月13日 戸山高校
- 6月15日 大山高校
- 7月13日 板橋有徳高校 懇親会
- 9月14日 多摩社会教育会館
- 10月12日 赤羽商業高校
- 11月16日 桐ヶ丘高校
- 12月10日 井草高校 懇親会
- 1月18日 多摩社会教育会館
- 2月17日 農芸高校
- 3月17日 北豊島工業高校

地区別連絡会では、話題が多岐にわたり、副校長会の連絡に留まらず、大変有意義な情報交換ができた。

特に情報セキュリティ関連では、改革？がど

ンドン進み、現場での対応を副校長が中心になって進めなければならない学校が多く、互いの情報交換が大変重要な年だった。私のような情報機器に詳しくない者は、多くの副校長先生方の情報や示唆に助けられ、校内の指導も進めることができた。月に1度だけとはいえ、大変貴重な時間だった。

これまた中部D地区の報告に詳しく書かれているので、お世話になってしまうが、ご参照願いたい。

成績等管理サーバの活用や、校内PCの集約等、対応の早い学校が手本となり、きちんと地区の学校に伝えていただけるのは大変ありがたかった。また、自校での問題点を挙げて、他校の参考にしてもらい、全体の向上に繋がることも本会の重要な役割であろう。

ただ、もう少し時間があれば、きちんと情報をまとめて問題点を整理して教育庁の担当部署とじっくり相談できたのではないかと思えることもあった。一方的に指示を実行するだけではなく、学校現場での問題点をきちんと伝えていってよりよい都立学校を作り、教育庁といっしょになってすべての学校が教育目標を高いレベルで達成できるようにすることも副校長会の大きな役割である。

来年度は中部C地区が研究発表となる。テーマを新教育課程に設定して、鋭意準備をしているところであるが、今後とも各校のご協力をお願い申し上げます。

最後に、常に副校長地区別連絡会に同席いただき、われわれと共通の立場で、疑問点等に真摯にご対応いただいた中部学校経営支援センター支所の支所長はじめ、皆様にはお礼を申し上げます。本当にお世話になりました。

常任幹事 宮本 信之（飛鳥）記



## 8. 中部D地区副校長会

### 1 はじめに

今年度の中部D地区は、17校19名の副校長で1年間活動を実施した。半数以上が全日制普通科高校であるが、単位制1校、商業2校、工業3校、農業1校、附属中学校1校が含まれる。常任幹事は鶴田（豊島）が務め、常任幹事代理は小塩（千早）が担当した。また、幹事補佐は渡辺（大泉附属中）が受け持ち、常任研究幹事には栗原（鷺宮）、研究幹事には齋藤（農芸）がそれぞれ担当した。

慣例的に、地区着任2年目の副校長が幹事等を務めることとなっているのでお引き受けしたが、正直なところ、勝手によく分からず、春から夏にかけては、副校長会の内容を地区のみなさんにお伝えし、また、地区の情報を副校長会にお伝えするだけの、いわばメッセージボーイに終始していた感を禁じ得ない。次年度幹事をお引き受けくださる方には、上手に引き継ぎができるようにしていきたいと考えている。

### 2 主な活動内容

それでも幸いなことに、地区のみなさんに支えられ、本地区では比較的活発かつ有意義に情報交換等ができてきたと思う。特に、夏以降は与えられた持ち時間を超過して意見交換を深めるようなこともままあった。主に話題となった内容については、以下のとおりである。

#### (1) IT 関連

昨年度末は、教員一人1台のTAIMS導入と自己申告書の端末入力で幕を降ろしたが、今年度は成績管理サーバの始動に始まり、TAIMSへのソフトインストール、ICT機器関連の話題などが多くの時間を占めていた。特に成績管理サーバについては、一学期（前期）のはじめの中間考査がピークを迎えた後で、その不具合を指摘する情報や、逆にうまく機能した情報など様々な意見や見解を頂いた。成績管理サーバについては、少テストの保存方法、想定外の入力と保存のあり方等々、秋以降もしばしば話題に上ったテーマである。

また、9月から導入された旅費システムにつ

いても話題となるが多かった。主に使い勝手の問題で、旅費システムで入力した旅行内容を、学校日誌にそのまま流し込める方法はないか、あるいは、このシステムをCSVファイルで起動できるようにならないか等々の意見が出された。このことについては、他の地区でも意見が様々出ているようであるから、それらの意見を集約して、改善の用に役立てることはできないかと考える。

セキュリティ問題については、例えばデジカメの画像の保存や生徒の健康情報の管理など、極めて実務的かつ細かな内容についての情報を求める声上がり、現場における日常の生々しさが醸し出されていた。

#### (2) 教育課程への取組

新学習指導要領に係る新教育課程に関する取組については、定期的に情報交換がなされていた。主に、その時その時での各校の進捗状況や教育課程編成の実務的な進め方等についての情報交換が行われた。

#### (3) 副校長会への要望等

この1月の臨時総会で承認された副校長会の幹事人数については、積極的に賛成する意見が見られた。また、校長協会との合同提案事項についても、重ねて強く要望して欲しいなど、特に9月以降には、一方通行的ではない建設的な意見が多数見られるようになっていった。

#### (4) C地区との合同実施

副校長連絡会では、本地区はC地区と同じ会場で連絡会を行っている。意見交換の時間も同じ場所で実施している。そのため、年度発足当初は、CとDは別々に情報交換を行っていたが、いつの頃からか、一緒に情報交換を行うようになってしまった。主観的ではあるが、その方が、幹事は2名いるため、副校長会からの連絡事項の漏れを防止できるし、また、より多くの意見や情報を聴取できるので、バラバラでやるよりも、この形態の方が機能的であるように思う。

常任幹事 鶴田 秀樹（豊島）記



## 9. 西部A地区副校長会

### 1 はじめに

西部学校経営支援センターAチームが所轄する都立学校は、全日制・定時制が9校、盲・ろう学校が2校、特別支援学校が12校、計23校である。

副校長会での意見交換会は、様々なテーマについてざっくばらんな雰囲気大切にしつつ、毎回行われた。日頃の職務を遂行する上での問題点や改善したいこと、各学校の課題などについて、毎回忌憚のない意見交換が行われ、非常に有意義な場になった。

### 2 活動報告

○副校長連絡会後の情報・意見交換会について

(1) 4月20日(火)

多摩社会教育会館

年間スケジュールの確認

年間取組目標の確認・規範意識・心の育成  
既存LAN・PCからのデータ移行状況

(2) 5月13日(木)

翔陽高等学校

幹事会報告

町田・稲城・多摩地区都立高校合同個別相談会について

(3) 6月15日(火)

八王子桑志高等学校

主任・主幹の育成について

学校説明会の日程について

(4) 7月13日(火)

多摩社会教育会館

土曜授業について

教科書の入力システムについて

生徒の使用するUSBについて

(5) 9月14日(火)

多摩社会教育会館

成績管理サーバーの運用について

ICT巡回支援スタッフの活用について

(6) 10月12日(火)

立川高等学校

学力向上への取組みについて

町田地区中高副校長会について

(7) 11月16日(火)

多摩社会教育会館

広報活動について

町田・稲城・多摩地区都立高校合同個別相談会について

(8) 12月10日(金)

多摩社会教育会館

入学選抜における運営上のチェックポイントについて

既存PCの取扱いについて

同窓会の同意書の集め方について

(9) 1月18日(火)

多摩社会教育会館

各学校の抱える課題について

(10) 2月17日(木)

多摩社会教育会館

入選・募集対策について

(11) 3月17日(木)

町田高等学校

次期常任幹事選出

### 3 平成22年度役員

常任幹事 若林直司(町田総合)

常任幹事代理 岩坪光吉(町田)

研究幹事 北澤道夫(小川)

### 4 おわりに

西部A地区の幹事は、当地区に新任・異動してきた2年目の副校長が担当することが慣例になっている。

今年1年常任幹事を担当させていただき、各学校の様々な課題について意見交換の場をもてたことは、大変有意義であった。私自身も大いに勉強になった一年であった。

副校長という職務は多忙を極め、ともすれば余裕を失いがちになるが、月1回の情報・意見交換の場において、それぞれの学校で工夫していることや悩んでいることなどを、肩肘張らずにざっくばらんな雰囲気の中で共有することができたことは、大変良かったと思っている。

支えていただいた皆様に感謝申し上げます。

常任幹事 若林 直司(町田総合) 記

## 10. 西部B地区副校長会

### 1 はじめに

西部B地区は、全日制課程 23 名、定時制・通信制課程 8 名、中等教育学校 2 名の合計 33 名の副校長で構成される。

西部B地区の情報交換会は、地区別分科会の最後に時間を設けている。そこでは情報交換はもちろんのこと、各校の副校長が課題や苦勞していることなどを出し合い、全員で解決のために話し合いを行った。

### 2 活動報告

今年度1月までの副校長連絡会地区別分科会では、まず下記の内容で、講演、講話、実践報告等があった。その中で7月の講演、9月の講話を除いた実践報告会の終了後には、報告内容をもとにしたグループ討議の時間が持たれた。

- 5月 「学校経営計画の実現」  
～ 職員1人1人に方針が届く  
方策について ～
- 6月 家庭学習時間を増す取組み  
～ 平均30分の家庭学習の時間を  
いかに増やすか ～
- 7月 西部学校経営支援センター所・支所合同  
「講演」  
西部学校支援アドバイザー  
江原 美規子 氏
- 9月 西部学校経営支援センター所・支所合同  
「個人情報事故防止講話」  
武蔵高等学校・同附属中学校長  
守屋 一幸 氏  
多摩桜の丘学園校長 杉野 学 氏
- 10月 「勉強の仕方を学習する取組み」  
～ ノートの取り方から  
教え始めた教師たち ～
- 11月 「中学校副校長の意見を聴く」  
～ 中学校の立場から見た高校の  
募集対策について ～
- 12月 「危機管理について」  
～ 入選事故を起こさないために ～
- 1月 B地区全学校より、  
～ 取組み・課題などを  
はじめとする各学校の近況報告 ～

グループ討議では、各校の状況などが報告された。ここでは各校の様々な取り組みや実践、また学校経営上の課題等が報告されたが、それ以上に副校長の多忙さや抱えている課題の多さが必ず話題になり、今日の学校における副校長のおかれている状況の難しさが改めてクローズアップされた。グループ討議後に、西部B地区の全員の副校長での情報交換会となる。ここではグループ討議で出なかった各学校で抱えている課題等が話し合われた。1月には、B地区の副校長全員が、1人ずつ自校の取り組み、実践、課題など近況報告をおこなった。

これらの報告会では、課題の解決策として参考になることも多くあったが、各学校の状況の違いから、即、解決策にはならないものも多かった。しかし、状況が異なる学校の副校長が同じ課題に対して話し合う機会は、副校長間の横のつながり（ネットワーク）をもつことに大きな成果があったと思われる。

### 3 宿泊研修会

今年も西部Bチームは研修会を1月8日(土)～1月9日(日)1泊2日の日程で、南熱海伊豆多賀温泉で実施した。

1日目 小田急町田駅に午後1時10分集合。小田急で小田原まで、小田原からJRに乗り継ぎ午後3時16分に伊豆多賀駅に到着。この日は6時の懇親会までの時間を各自が宿でゆっくり過ごすことになっていたのだが、温泉につかった後、我々の職業的習性か？教育現場での様々な話題(四方山話も含めて)について話し合いの時間となった。

午後6時からの懇談会には、直接宿に着いた者も一緒になり親睦を深めた。

2日目 この土地が故郷の方のお家を見学し、途中熱海に立ち寄り帰途についた。

短い時間であったが、日頃、多忙極まる副校長にとって、こうして仲間とともにゆっくりとした時間を過ごし、考えや悩み、職場の状況など様々なことを語りあう時間こそ、休息(癒し)の時間となると共に実質的な研修の時間にもなり、明日への鋭気が養われる機会だと思われた。

来年以降も、ぜひこの宿泊研修を継続して欲しいと思う。

常任幹事 下田 賢明(昭和)記

## 11. 西部C地区副校長会

### 1 はじめに

今年度の西部C地区副校長会の構成は普通科高校7校、専門学科高校2校、総合学科高校1校、中高一貫校1校の計11校12名であった。常任幹事は原(小金井北)、研究幹事は阿部(久留米総合)、常任幹事代理は伊東(清瀬)が勤めた。

毎月の副校長連絡会では、全国高等学校教頭・副校長会や東京都立高等学校副校長会の研究協議会等の発表を踏まえ情報交換を密にしながら取り組んできた。そして、副校長連絡会が全体会・チーム別意見交換で構成されていることを受け、支所の学校経営支援主事と連携をとりながら、円滑に運営ができるように心がけた。

### 2 活動報告

#### (1) 副校長連絡会と情報交換会

4月20日(火) 多摩社会教育会館

- ・幹事会報告
- ・「若手教員育成への取組について」
- ・3、4月の成績管理サーバーへの移行状況や問題点等。

5月13日(木) 都立武蔵高等学校

- ・幹事会報告
- ・「学校におけるOJTの推進」
- ・TAIMS(個人端末)の使用状況について

6月15日(火) 都立上水高等学校

- ・幹事会報告
- ・「授業観察における視点及び工夫について」
- ・情報セキュリティについて
- ・TAIMSによる自己申告書作成状況について

7月13日(火) 多摩社会教育会館

- ・幹事会報告
- ・Eラーニング研修
- ・TAIMS入力による旅費管理システムについて

9月14日(火) 多摩社会教育会館

- ・幹事会報告
- ・情報セキュリティについて
- ・ネットワークシステムについて

10月12日(火) 都立秋留台高等学校

- ・幹事会報告
- ・「学校経営計画の中間まとめ」
- ・「経営企画室の学校経営参画」

- ・旅費システムについて

11月16日(火) 都立青峰学園

- ・幹事会報告
- ・「学校経営診断」について
- ・校務用PC移行について
- ・TAIMS端末のソフトウェアについて

12月10日(金) 都立久留米西高等学校

- ・幹事会報告
- ・「学校評価の有効な活用」
- ・新体力テストについて

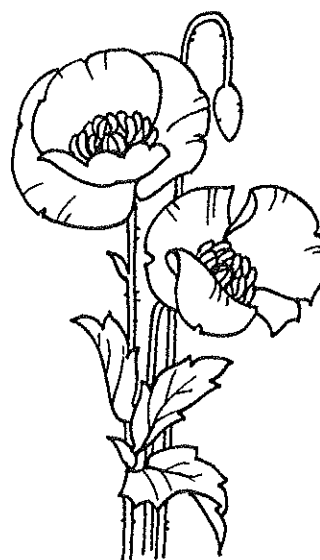
1月18日(火) 多摩社会教育会館

- ・幹事会報告
- ・自転車事故防止に向けた取組
- ・校務用PC移行状況

2月17日(木) 都立田無工業高等学校

3月17日(木) 都立東大和南高等学校

常任幹事 原 忍(小金井北) 記



## 12. 西部D地区副校長会

### 1 はじめに

平成22年度、西部D地区は、19校21名で構成されている。普通科高校14校、専門学科高校2校、単位制高校2校、総合学科高校1校である。普通科のうちエンカレッジ2校が2名配置校であり、今年度本地区には昇任を含めて新たに9名の方が着任した。

役員は、常任幹事に中川(五日市)、研究幹事に遠山(青梅総合)、常任幹事代理に矢作(小平)、幹事補佐に常國(東村山)、常任研究幹事に黒澤(多摩工業)の5名を選出した。本地区は、幹事会や総務部会の開催される地より遠方のため、役員間で連携を取り合い、会に欠席することなく情報の伝達にもれがないよう心掛けた。

本地区は今年度の副校長研究協議会の研究発表の順にあたり、前年度からの研究を引き継ぎ「主任教諭の活用状況と課題」という内容で発表した。

### 2 地区別副校長連絡会活動報告

西部地区C地区とD地区は合同で事例発表による研究協議の後、地区ごとの情報交換を行っていた。情報交換会では、幹事会報告の後、月ごとに話題を設定し、各校が抱えている課題やその解決の糸口になることなど情報交換を行っていた。開催場所と事例発表・研究協議等の内容は以下の通りである。

4月20日(火) 多摩社会教育会館

「若手教員育成への取組」

5月13日(木) 武蔵高校

「学校におけるOJTの推進」

6月15日(火) 上水高校

「授業観察における視点及び工夫について」

・成績等管理サーバについて

7月13日(火) 多摩社会教育会館

講演「今だからこそ、学校経営の「要」である人材・副校長に期待する」

江原美規子 西部学校支援アドバイザー

・成績等管理サーバについて

9月14日(火) 多摩社会教育会館

「個人情報事故防止」講話

・旅費システムについて

10月12日(火) 秋留台高校

「学校経営計画の中間まとめ～学校課題の解決に向けて～」

「経営企画室の学校経営参画」

・新教育課程の進捗状況

11月16日(火) 青峰学園

「平成22年度学校経営診断を受けて」

・TAIMSPC, 教育用PC以外のPCについて

12月10日(金) 久留米西高校

「学校評価の有効な活用」

・TAIMSPC, 教育用PC以外のPCの廃棄等移行計画

1月18日(火) 多摩社会教育会館

・司書教諭の活用状況

・情報セキュリティ対策について

2月17日(木) 田無工業高校

3月17日(木) 東大和南高校

### 3 終わりに

この一年、成績管理サーバの導入、旅費システムの導入、既存PCの転用・廃棄計画等、PC関係の話題に終始した。情報交換の内容もほとんどがPC関係で、各学校の取組や進捗状況がわかり、情報交換が有意義に行われたと感じている。

また、前述の通り本地区は副校長研究協議会の研究発表の順で、「主任教諭の活用状況と課題」という内容で発表した。原稿を作成する際には多くの学校にアンケートのご協力を頂き、ありがとうございました。さらに、来年度全国高等学校教頭・副校長研究協議大会でも研究発表することになり、発表の内容をさらに高めるために改めて全都の副校長の方にアンケートをお願いし、お忙しい中快く回答していただき誠にありがとうございました。この場をかりてお礼申し上げ、本地区の活動報告の結びとします。

常任幹事 中川 徹(五日市) 記

